

爺爺（G G）パッカー旅行記ギリシャ、イタリア編

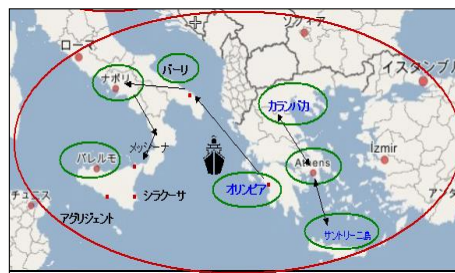
今回の旅行は少し長めの50泊の徘徊、全行程の約半分のギリシャ、イタリア編の旅行記を御紹介いたします。

- ◆準備チケット 近距離はあまり関係ないけど長距離列車は早期予約で半値近くになるので、列車チケット
アテネ⇄カランバカ 往復10時間
ナポリ⇄パレルモ 10時間
- ◆飛行機 シチリアからの飛行機はLCCのライオン航空
- ◆その他 近距離列車時刻表、バス会社の時刻表なども予め調べる。でもバスが来なかったり・・・
- ◆旅のルート **ギリシャ9泊 イタリア16泊**

ギリシャ：アテネ⇒カランバカ⇒サントリーニ⇒コリントス⇒オリンピア⇒パトラ（船）
イタリア：パリー⇒ナポリ⇒シチリアパレルモ⇒メッシーナ⇒タオルミーナ⇒
 カターニャ⇒カサーレ⇒シラクサ⇒アグリジェント⇒マルサーラ⇒トラパニー
 パレルモに戻る

G Gパッカーの旅は基本一人旅であるが、今回学生時代の友人2人とパレルモ集合、解散で9日間いっしょにすごした。

今回ギリシャ、アテネ・カランバカ・サントリーニ・オリンピアとイタリアのナポリ、シチリア。



アテネ

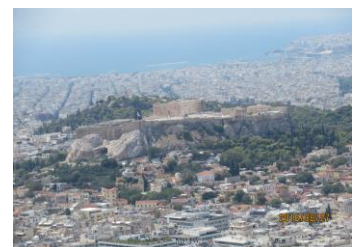
8月27日朝 アテネ到着

アテネは今回一泊なので翌日のカランバカ行きの駅でのチケット確認と サントリーニ行き、ピレウス港での船のチケット購入、出航場所確認で午前中は終わった。午後は散歩程度でも街中をお散歩。



ハドリアヌスの凱旋門（14代ローマ皇帝）ゼウス神殿

大統領官邸



無名戦士の墓

第1回近代オリンピック競技場

リガヴィスの丘からアクロポリスを望む



翌朝 アテネ駅&ホーム

アテネ駅から出発、一国の中央駅とは思えないような小さな田舎駅。

カランバカ に向け列車旅



カランバカ駅、街中より奇岩を望む
カランバカはメテオラ観光の拠点
メテオラは奇岩の上に建設された修道院共同体
世俗とのかかわりを断ち、祈りと瞑想に生きるギリシャ正教修士。



アギア・トリタ修道院

カランバカに到着後、町からアギア・トリタ修道院まで徒歩にて登る、急勾配もあったけど麓から1.5時間 高尾山に登る感覚。



一日数便路線バス

2日目は路線バスで一番奥のメガロ・メテオロン修道院から
4箇所を徒歩でめぐり降りてきた。

ヴァルラーム修道院



サルヌ修道院



メガロ・メテオロン修道院（613mの岩山の頂メテオラの中で最大）



修道院礼拝堂

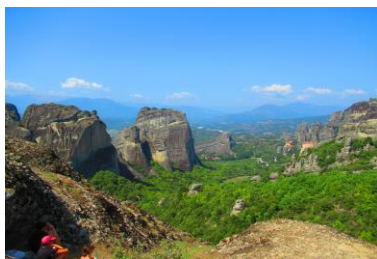


中庭





聖ステファノス修道院



途中の景色を堪能

祠

カランバカより列車でアテネに戻り 翌朝、船にてサントリー二島へ

ピレウス港

7:25 出航 14:50 到着

7時間半のエーゲ海クルーズ 途中の島々によりながら

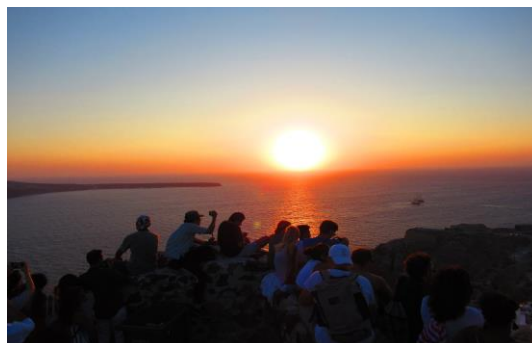


サントリー二島 は高級リゾート。ホテル代も高く 安宿テント村に宿泊でした。

街は白と青の街、国旗そのものの色、海も真っ青。

NHK BS放送でも放映、世界一タ日がきれいと言われ若者たちが押し寄せる町。

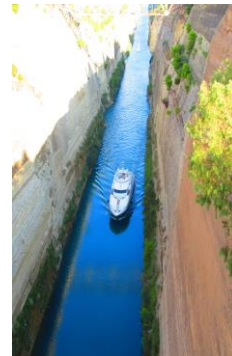
テント



世界から若者たちが



次に向かったのは [コリントス](#) 古代ギリシャ遺跡のあるところですが、コリントス運河を見たくて！



コリントス運河

古代ローマ時代ネロに試みがあった

1882－1893年開通 6.4 km

たいした道具もなく、ツルハシー一本で掘ったのでしょうか？掘った痕が残ってるんです、関心です。
今も大きな船がギリギリの航行するようですが、私が行ったときはごらんの通り小型船舶でした。



近くにあった、ポスターをバチリ 全長6.4 km



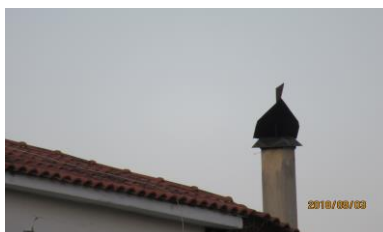
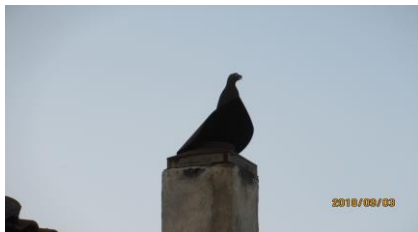
コリントスのバスターミナルから 運河で途中下車しながら
オリンピアへ向かう。

コリントスは歴史ある遺跡の街、街中にはたくさんの出土品レプリカが



コリントス市内 至る所に遺跡のレプリカ

バスに乗りながら民家の煙突に大きな鳥，本当に鵜のような鳥が、停まっているのかの様に見える？不思議な光景でバチリ。



近くに寄ってみた結果、風見鶏風排煙口 風下に流れるんですね！

バスを乗り継いで [オリンピア](#) へ



鄙びた田舎町、こんな不便なところには観光客は少なめ。



オリンピアの街中のニケ



左博物館、神殿風駅舎です オリンピア駅も 神殿風建物、朝の乗客数名。



早速オリンピア遺跡、博物館の見学。

オリンピアの遺跡と博物館が見所
ヘラ神殿（ゼウスの）妻
オリンピック発祥の地・採火式



此処で来年の東京オリンピックの聖火を採火するんですね！



競技場入口



古代オリンピック競技場：191mコース



大理石でできたゴールラインです
少しよたよたしていますが・・・ゴールの瞬間

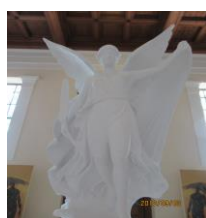
博物館には色々遺跡の収蔵品がありますが、勝利の女神ニケが目立ったかな？



ニケの壺



ニケの像台座



ニケ



勝利の女神ニケ



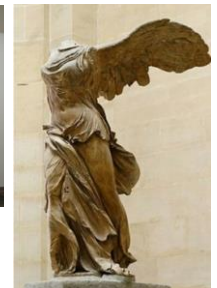
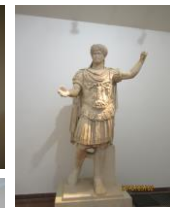
ニケのモザイク



神殿破風の彫刻



ディオニソスをあやすヘルメス



ご参考 サモトラケのニケ
ルーブル美術館の正面階段に展示

オリンピアを後に港町パトラに移動、船員組合のストライキに遭い、一日パトラに足止め
チケットの手配、出るか出ないかで結構色々大変だった。



ここまでがギリシャ。
アドリア海を渡ってイタリアへ！

イタリア パーリ に向かって12時間の船旅、ストライキ明けで さぞかし超満員と思いきや ガラガラの拍子抜け！
ストライキの影響で、アルベルベッロには寄ることができず。

ナポリには3泊、予定はカゼルタ、ベストゥム、ボンベイ、考古学博物館に市内散歩の予定。
殆どナポリ郊外電車で一時間くらい 全て世界遺産。

カゼルタ宮殿 ナポリの北北東27 km列車で小1時間

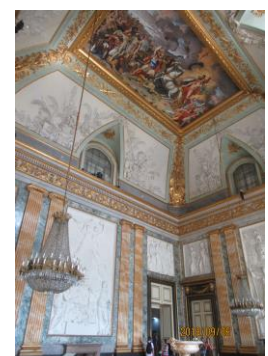
世界遺産 18世紀ナポリ王国の王によってつくられた宮殿、敷地面積広大で、歩いて回るには炎天下、厳しかった。



広大な敷地にびっくり



宮殿が見えない？ まだこの反対側は続く。



宮殿の装飾も桁違いの絢爛豪華に、目を見張る宮殿でした！

スバッカナポリ、ナポリの下町

噂によると 治安があまり良くない様子、小さな路地へは入りづらく 安全第一、大きめの路地ぐらいでやめておく。



サンタ・ルチア ♪♪♪



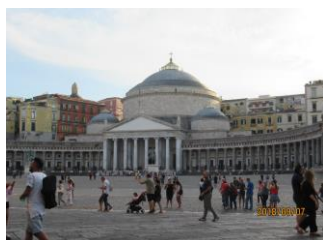
治安が悪そう、機関銃と警察



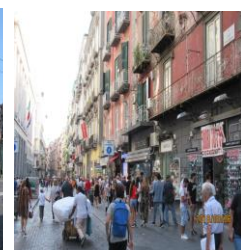
ブランドコピー品
シート? に広げて商売
取締りが来る シートの四隅をもって一目散



ヌーヴォ城



プレビシット広場



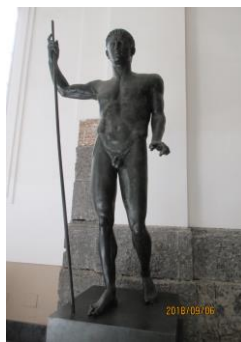
地下鉄乗って考古学博物館へ
ナポリの地下鉄駅のアート



ナポリ考古学博物館



入口にドーンとファルネーゼのアトラス



槍兵



ファルネーゼの雄牛



ファルネーゼの皿



ファルネーゼのヘラクレス



ペストゥム

古代ギリシャ、古代ローマ遺跡 ポセイドニア Poseidonia (海の神ポセイドンの町の意) が訛ってペストゥム。

ナポリから列車で1時間 神殿がきれいに残っている。
ペストゥムには三つの神殿があります。



ネプチューン神殿



ケレス神殿



バジリカ



集会所



松ノ木の形が面白い！



ポンペイ

西暦79年) ポンペイ遺跡

ヴェスヴィオ火山のふもとにあった古代ローマ都市
居酒屋やパン屋、娯楽館、公共浴場、野外劇場、闘技場、神殿が並ぶ広場もあった。
ローマ都市そのものの広大な敷地、半日程度では見切れない遺跡だった。



ポンペイ遺跡とヴェスヴィオ火山





闘技場&円形劇場

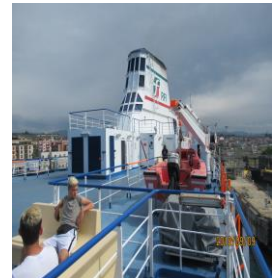
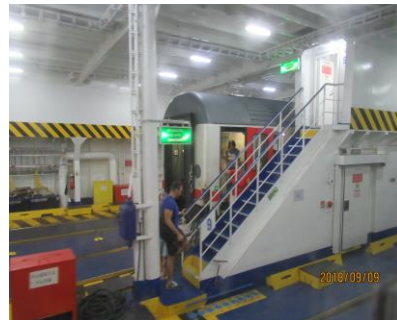


娼館方角、笑えます。

娼館壁画



ナポリからシチリアに向け出発途中、メッシーナ海峡を列車ごとフェリー運ぶ、昔の青函連絡船である。



シチリアに上陸 [メッシーナ港](#)

青函連絡船のように列車ごとフェリーに入る。 将来はメッシーナ大橋ができる予定。



メッシーナ駅



パレルモ駅



パレルモ で 無事 学生時代の友人と合流 シチリアの旅が始まる。

パレルモには3日間 街、プラ中心に今後の計画を練る。
観光名所

マッシモ劇場

1897落成・パレルモのシンボリック建物 ゴッドファーザーのロケ地でも有名
ヨーロッパで3番目に大きい

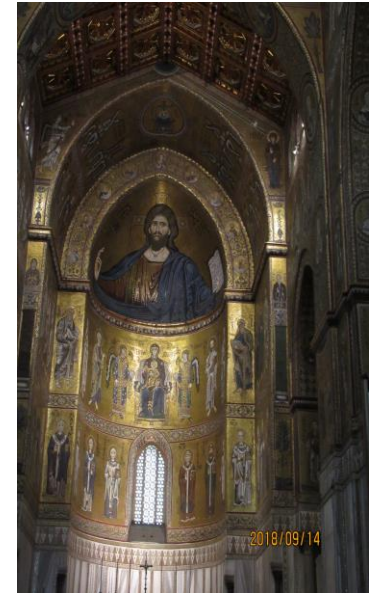


劇場のツアーに参加 隅々まで見学、英語のツアー。すべてを理解したわけではない！



モンレアーレ 大聖堂

パレルモの郊外、バスで20分くらいの丘の上にそびえている世界遺産



ノルマン建築様式・ガラスモザイクが素晴らしい！ 6500平米

西暦1200年ごろ完成し、教会内部は6500平方メートルのモザイクガラスで覆われているのは、聖書の物語描かれている。見所であり、世界一といわれている。パレルモ市内も沢山の見所が点在、クワトロ・カンティを中心にナポリ大聖堂、王宮、考古学博物館、歴史的広場、市庁舎、教会と歴史を感じる町。



クワトロ・カンティ バロック様式の装飾

パレルモの中心地の十字路の道路の4角を落として 広場になっている
それぞれの角には 3体づつの彫刻がおかれている。

クワトロ・カンティからパレルモ大聖堂と王宮へと続く



クワトロ・カンティの横にはプレトリア広場の噴水である。

プレトリア広場噴水



パレルモ大聖堂



広場・カフェ



王宮



市庁舎



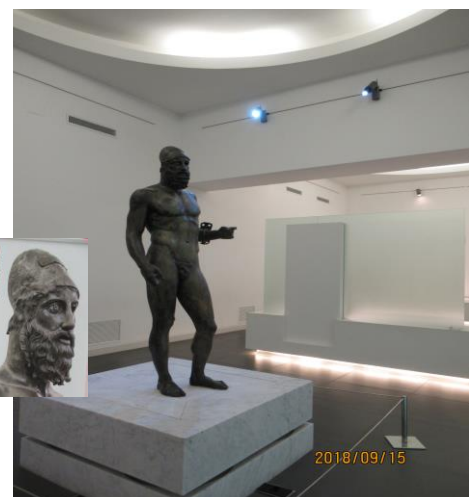
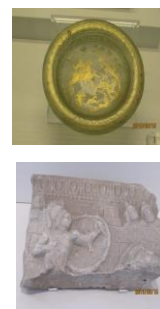
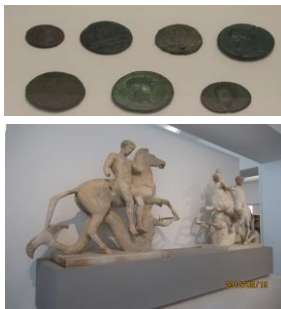
考古学博物館

レッチョ・ディ・カラブリア

メッシーナ海峡に面する田舎町であるが、国立考古学博物館が見所。
イタリアにおける最古のギリシャ人植民地。

メッシーナから本土の対岸レッチョへ 国立考古学博物館へ

国立考古学博物館



此処の最大の目玉

リアーチェ沖のブロンズ2体・1972年引き上げられる。

タオルミーナ (メッシーナとカタニーヤの間にある町)

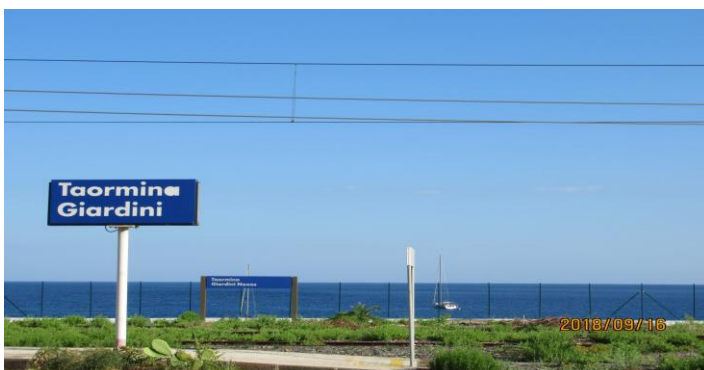
古代ギリシャ、ローマ帝国に支配されていた古代遺跡が残っている風向明媚なところ。
今では高級リゾート地として観光客に人気な所、映画グランブルーの舞台でも有名。



タオルミーナ円形劇場 背後にイオニア海 & エトナ山、絶景です。



タオルミーナの一番の繁華街、サンジュゼッペ教会 & 4月9日広場



駅の向こうはイオニア海・レトロな駅舎です。



カタニーヤ

古代ギリシャの殖民都市、バレルモに次ぐ第2の都市

カルタジローネ (陶器の町) やカーサロマーノへのゲートシティー

オペラの作曲家として有名、昔の5000リラ札などに肖像画が使われていた、ベッリーニ公園、ベッリーニ記念碑、ベッリーニの棺なども大聖堂に安置されている。



カタリーニャ駅前



カタリーニャ大聖堂



ベッリーニ楽譜付石棺



エレファンタ宮



カタリーニャの駅前には
タ客待ちタクシー運転手



街中にローマ時代の闘技場



ベッリーニ記念碑

タクシーチャーターの交渉 カーサロマーノ、カルタジローネに行きたい旨はなすと 250ユーロとの事 日本円で3万円を超える額、交渉決裂
そこへ怪しげな爺さん（我々より若い）白タクの運転手 事情を話すと150ユーロで行くよ とのこと
ホテルにピックアップを頼んで妥結。

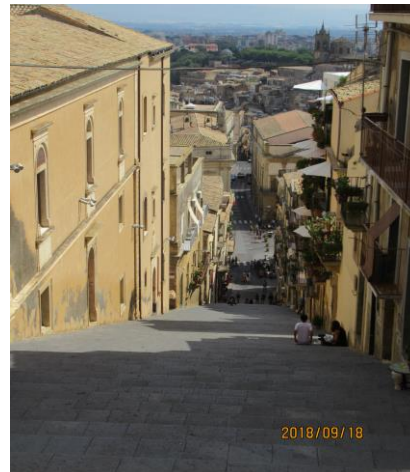
という事で、翌日カルタジローネ、カーサロマーノ両方とも世界遺産に行く事に決まった。

カルタジローネ カルタジローネ陶器の町（世界遺産） マヨルカ焼き

「陶器の町」 有史以来 陶器作りの町 11世紀アラブ人によりマヨルカ焼きの技術が導入
カルタジローネもアラビア語の 花瓶の丘 という言葉から来ているとの事。



サンタ・マリア・デル・モンデ大階段 142段（ラ・スカーラ）



陶器博物館



サンタ・マリア・デル・モンデ教会





昔は映画館だったらしい



カルタジローネホール

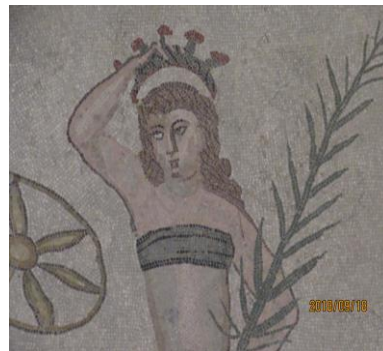


VILLA ROMANA DEL CASALE

建物は殆ど崩壊しているが、古代ローマ時代の別荘 モザイク絵画がたくさん残っている。

ヴィッラ・ロマーナ・デル・カサーレ

ローマ時代の別荘（世界遺産）



特にビキニのお嬢様モザイクが有名



一日お世話になったドライバーと記念写真 陽気なイタリア爺さんズでした。走行距離250kmでした。

シラクサ (アルキメデスの町) カターニャから列車で日帰り

紀元前から石切り場として、建築用石材が切り出されていた。
ギリシャ、ローマ遺跡など残っており、アルキメデスの生まれたところでもある。
nアール、アルキメデスの原理、ネジの原理と揚水機などの発明。



ローマ闘技場



ギリシャ円形劇場



ディオニソス耳と言われている

シラクサの石切り場・古代ギリシャ人が石切り場で働かれ 3万人が、殺された洞窟の音響効果が、素晴らしく その昔は天井から囚人たちの話し声を盗聴していた。洞窟中ではツアーのガイドさんが、カンツォーネを披露していた。



♪♪♪ ♪♪♪

アグリジェント シチリア最大の遺跡群「神殿の谷」

古代ギリシャの植民地都市、当時の遺跡が現在も残る「神殿の谷」



デオスクロイ神殿



ヘラクレス神殿



コンコルディア神殿



ヘラ神殿



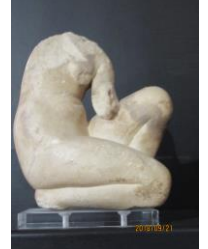
ジョーヴェ・オリンピコ神殿



テラモーネ・人柱



博物館



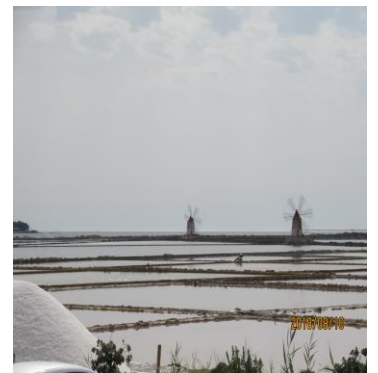
マルサーラ

マルサーラはシチリアの西部、カルタゴ人によって作られた要塞都市（アフリカに最も近い町）



マルサーラ大聖堂

木陰で一休み



此処は大塩田地帯、昔は風車で海水を汲み上げ、古代の天日採塩製法で塩がつくられています。 風車がのどかで良いです。



トラパーニ&エリチェ

シチリア最西端に位置する町港町

エリチェは標高 731mの山の上に在る町、ロープウエーで15分くらいで山頂へ城壁に囲まれた町 もちろんお城も、トラパーニが眼下に広がる。



トラパーニよりエリチェを望む

エリチェ標高731m



トラパーニは山の上の
三角形の狭い町



トラパーニ市街



エリチェ市街



眼下にトラパーニ

[セジスタ・Segesta](#)

丘上の神殿

古代ギリシャの都市遺跡、標高400mには円形劇場とトラパーニより路線バスで訪問、バスは日に2, 3本のため慎重に路線バスを調べ、セジスタの後はパレルモへ。



丘上の神殿と円形劇場



ここからパレルモに戻るまでは1時間半、シチリア1周旅でした。

こんなもの食べた編

貧乏旅ですので高級レストランなどには行けず、大衆レストラン、パニーニ（長いパンのサンド）、ピッツア、部屋食など・・・でした。
海の幸が豊富で、魚はもちろん、タコ、イカ、もおいしくいただきました。
ビールとワインは欠かせずいただきました。

嘘みたいなレストランでの話し。

イタリア人の胃袋は大きいのでしょうか！！

パレルモの地元で大人気、行列のできるレストラン「Ferro di Cavallo」

此处に訪問するも人気店で行列、名前を書いての順番待ち、名前を書く場所がカッターシャツ

しばし待つのですが、待ってる間に、前菜の揚げ物が次々出てくる、ワインも惜しげもなく出てくる。

店のオーナーの振る舞い料理、ワインで、お腹いっぱい、食い逃げてしまいました、

翌日は飯を返すため、同じレストランに早めに行っておいしく食事とワインをたんといいただきました。



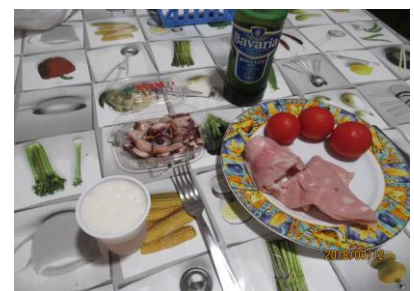
順番待ち



パニーニ

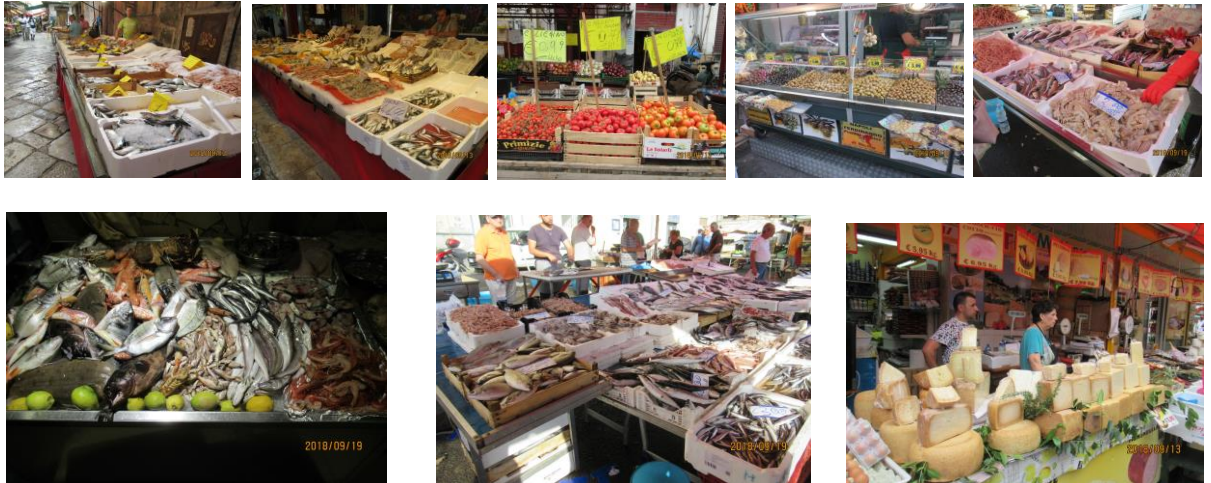


部屋食もビールは欠かせません



ナポリでクリントン大統領が食べたと言うピッツア店へ ビール+ピッツア で
10ユーロ、本当の庶民のみせでした。

市場の食材



最後パレルモ空港



NHK・BSお馴染み空港ピアノはヤマハのグランド、パレルモ空港でした。

今回の徘徊旅、かねてより行きたいと思っていた所、古代ギリシャ、ローマ遺跡の数々、特にギリシャ神殿の数々実に美しい姿、現代まで残っていました。

旅行社のツアーは効率よく色々、沢山見せてくれるけど・・・どうも記憶に残らない・・・

全て自己責任での旅、見落としているものも沢山あるけど、街歩きは楽しかったです。

おしまい。